

## 敷地状況確認

### 周辺環境

- ・都府楼前駅から徒歩圏内の市街地
- ・周辺は提唱住宅、中層集合住宅、医院、学校など。

### 地形について

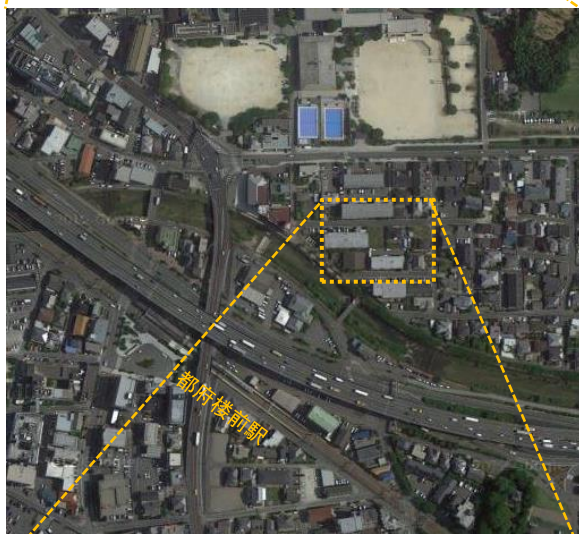
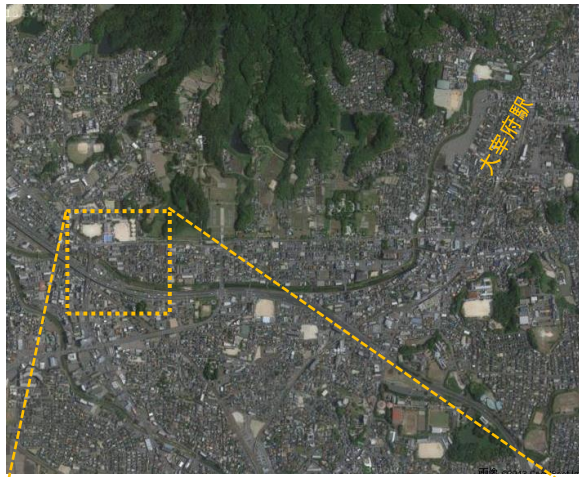
- ・周辺含めほぼフラットの地形。
- ・道路と敷地1m程度の高低差。

### 隣地について

- ・東側 2階建住宅。南庭大きく好日照条件。
- ・南側 3階建の集合住宅。境界より8m強の隔離。
- ・西側 3階建集合住宅隣接
- ・北側 前面道路を挟み、3階建集合住宅。

### 分析

- ・日照通風条件は、比較的恵まれている。
- ・東側以外の方位からは、3階建の建物からの視線に注意が必要。



敷地周辺航空写真

## プラン変遷のまとめ

- ・大屋根葺き下ろしのイメージをよりどころにしたプラン
- ↓
- ・敷地高低差を活用した、スキップフロアプランに
- ↓
- ・ガレージの壁(柱)の課題から、総2階プランに
- ↓
- ・平面形状の整理(建物の全体の矩形、壁のラインの通り)

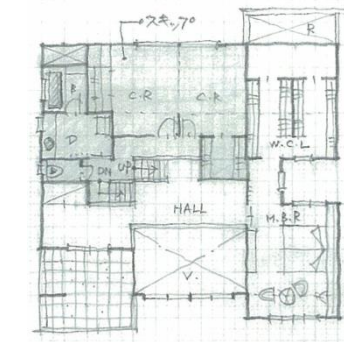


## プラン提案の変遷(抜粋)

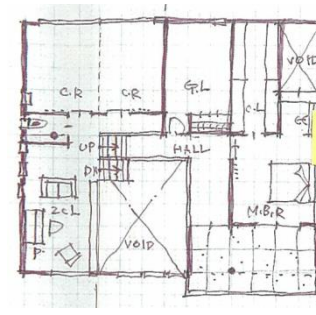
・北側大屋根葺き下ろし外観



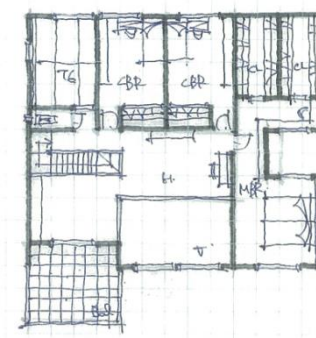
・北側スキップ



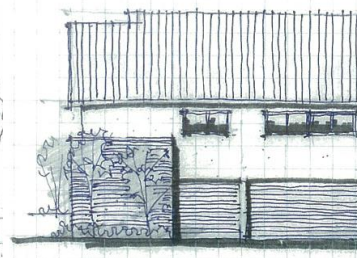
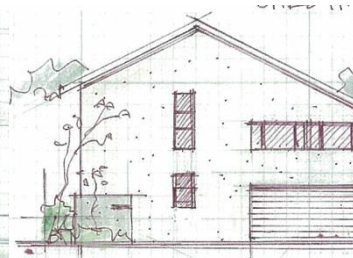
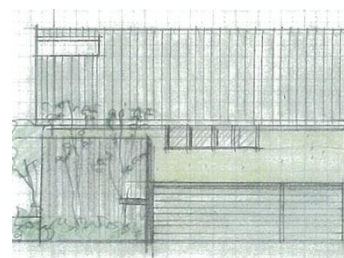
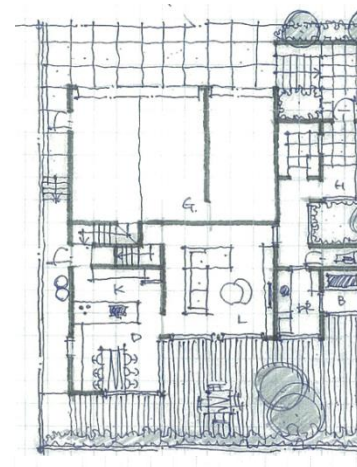
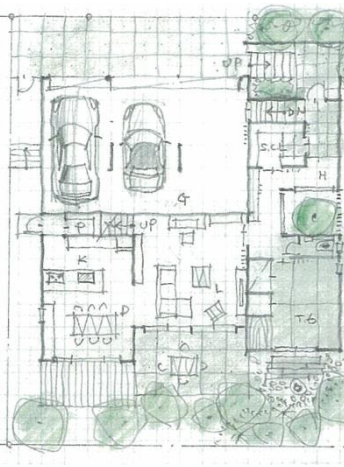
・西側スキップ



・総2階プラン



・総2階シンプルな平面形状



敷地周辺写真

## 最終案をベースとした新たな提案への手がかり

### 外観

- ・シンプルな箱型にまとまっているが、当初のイメージ写真からは遠ざかってしまった。

### リビング吹抜け

- ・リビング上にダイナミックな吹抜けが設けられているが、大屋根、バルコニー、開口など開放感に課題。

### 2階居室

- ・全居室が、北もしくは東面採光で、もったいない印象。

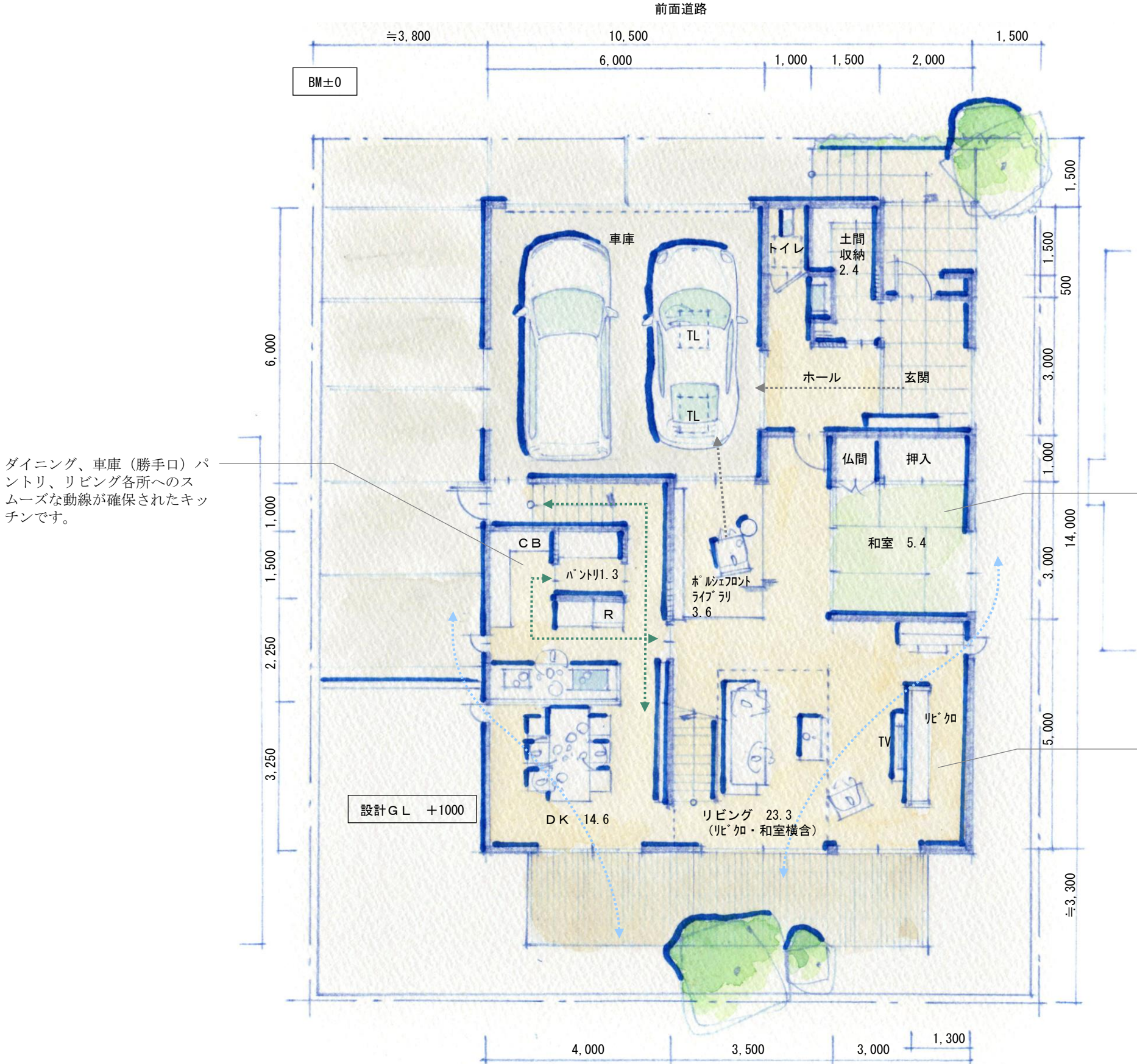
### ガレージと屋内の関係

- ・愛車を眺めるスペースが、玄関ホールのみとなっているが、居室からも見られるとなお良いのではないか。

## 設計主旨



- ①当初のイメージに近いダイナミックな印象の外観
- ②開放的なリビング吹抜けと各居室とのつながり感
- ③2階居室の日照、通風条件の改善
- ④家の中から愛車を見る事を楽しめる空間



ダイニング、車庫（勝手口）パントリー、リビング各所へのスムーズな動線が確保されたキッチンです。

当初の外観イメージ（大屋根葺き下ろし）に近づける為、2階のボリュームを小さくすべく、和室を1階に配置しました。多くの用途で、1階にあった方が便利に活用できそうです。

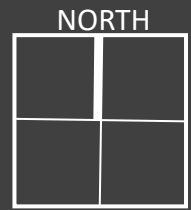
H=2000程度の腰壁で区切られた収納スペースをご提案します。扉が無いので、もの出し入れがスムーズだけでなく、（天井面が途切れないので）部屋の広がり感は、あまり損なわれません。

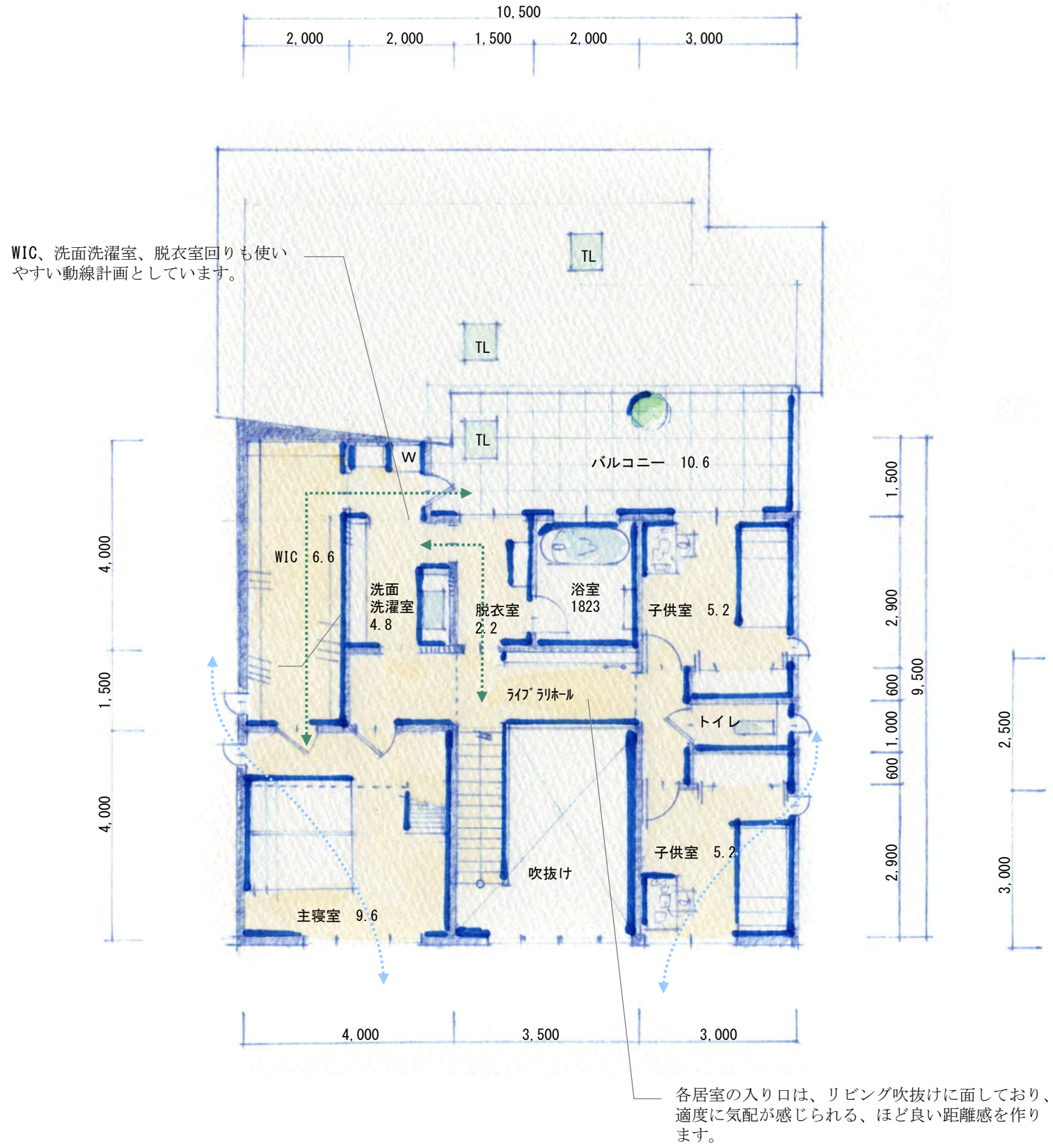
配置兼1階平面図

PLAN

1F PLAN

SCALE 1:100

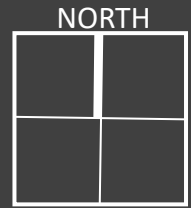


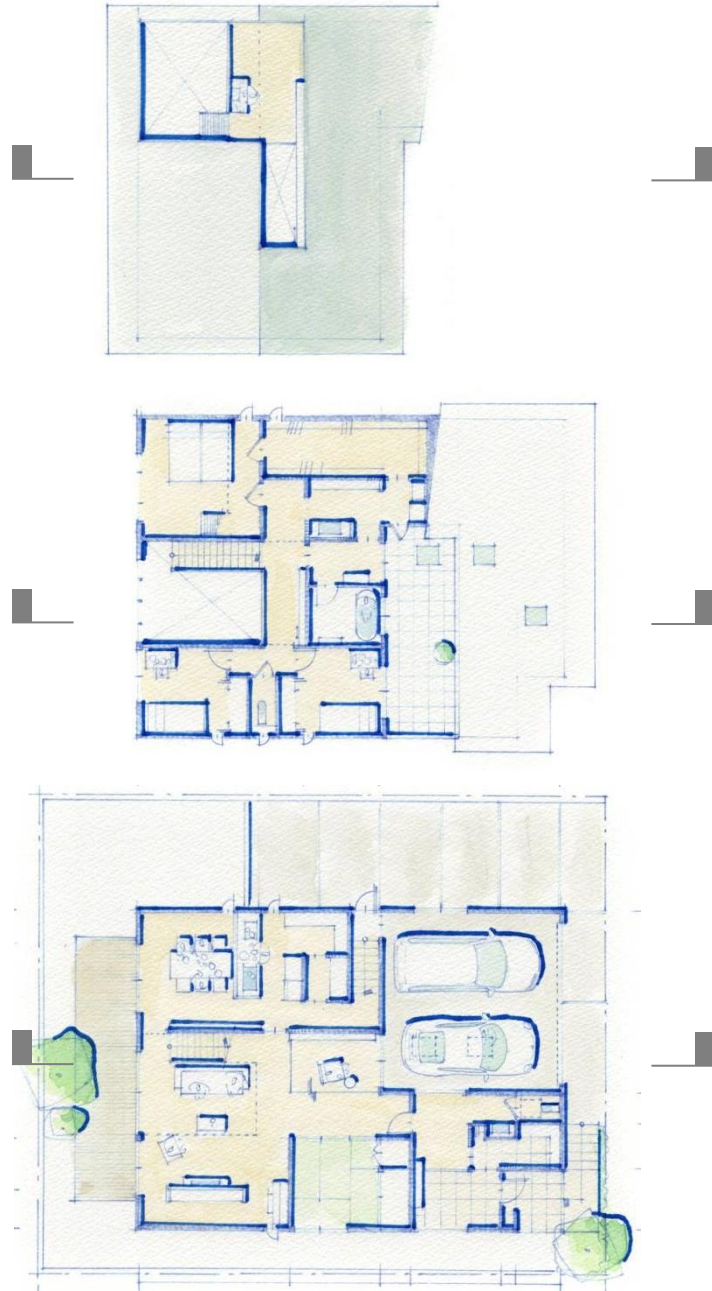


PLAN

2F RF PLAN

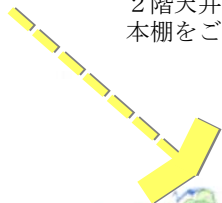
SCALE 1 : 100



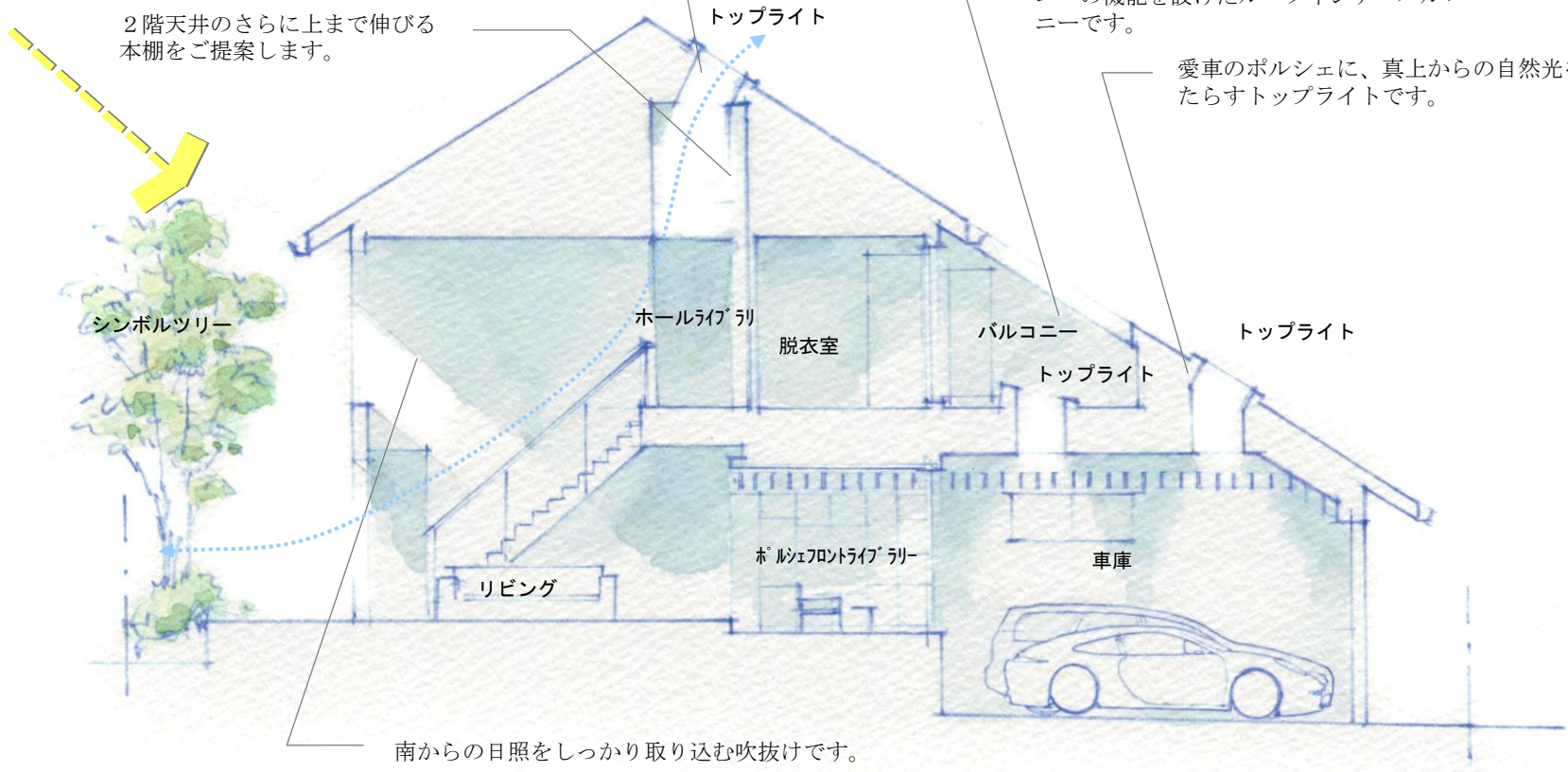


建築基準法上要求される排煙と、重力換気による通風の機能を持ちトップライトです。

2階天井のさらに上まで伸びる本棚をご提案します。



シンボルツリー



南からの日照をしっかりと取り込む吹抜けです。

自然な建物シルエットを崩さずに、バルコニーの機能を設けたルーフィングバルコニーです。

愛車のポルシェに、真上からの自然光をもたらすトップライトです。

SECTION

SCALE 1:100

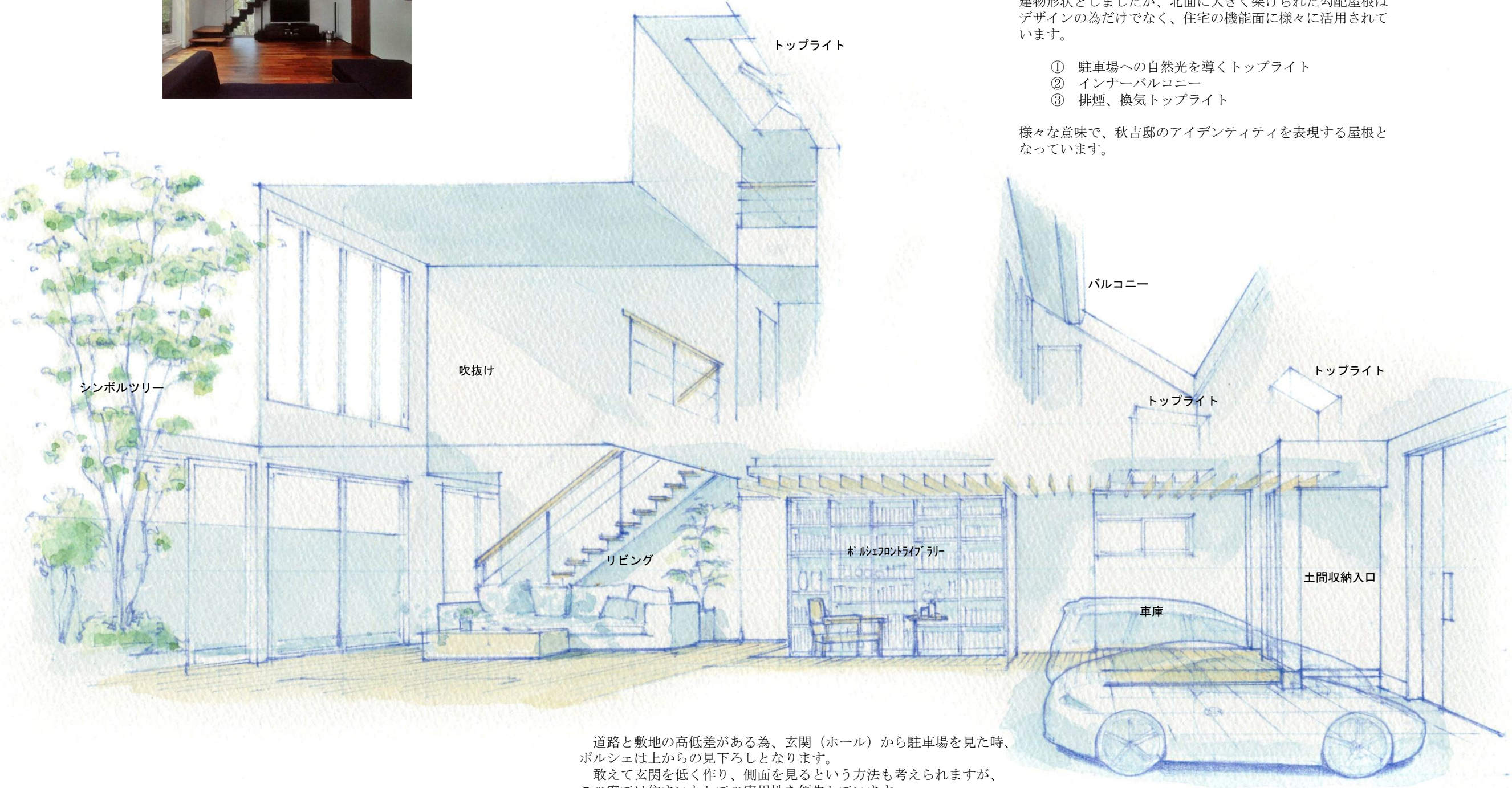
断面図



本案は、外観イメージの実現の為に、大屋根葺き下ろしの建物形状としましたが、北面に大きく架けられた勾配屋根はデザインの為だけでなく、住宅の機能面に様々に活用されています。

- ① 駐車場への自然光を導くトップライト
- ② インナーバルコニー
- ③ 排煙、換気トップライト

様々な意味で、秋吉邸のアイデンティティを表現する屋根となっています。



トップライト

バルコニー

吹抜け

トップライト

トップライト

シンボルツリー

リビング

ホールのライブラリー

土間収納入口

車庫

道路と敷地の高低差がある為、玄関（ホール）から駐車場を見た時、ポルシェは上からの見下ろしとなります。  
敢えて玄関を低く作り、側面を見るという方法も考えられますが、この案では住まいとしての実用性を優先しています。

建物縦断スケッチ

CONCEPT DRAW

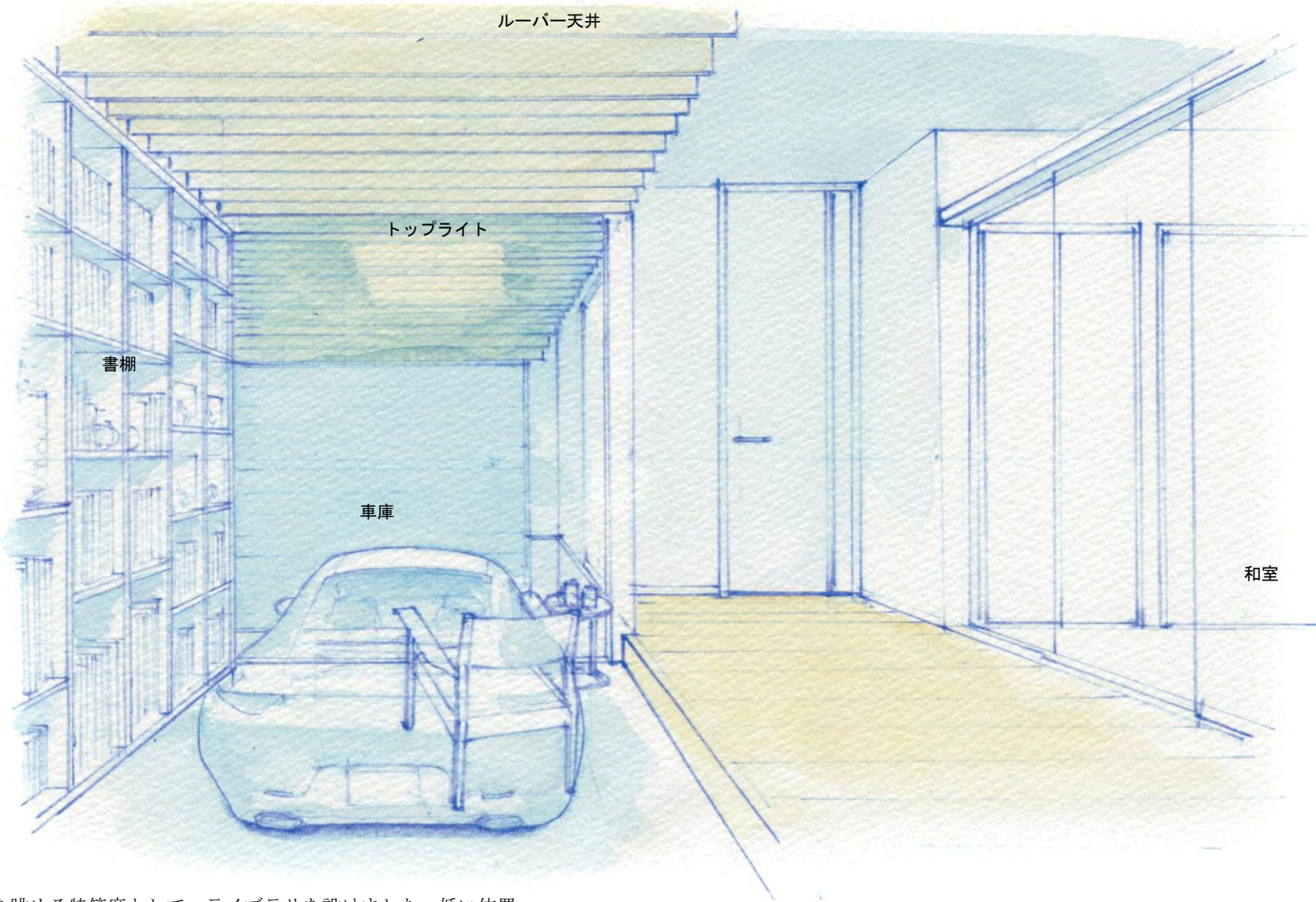
PERSPECTIVE

公園の緑



閉鎖型のガレージですが、トップライトを設けポルシェの真上から自然光を取り入れる設計です。日中と夜で、二つの表情を持つスペースとなります。

ライブラリーと車庫の空間的に一体感を高める為に、一体のルーバー天井材で仕上げます。家の中のその他の空間とは違う特別館を演出します。

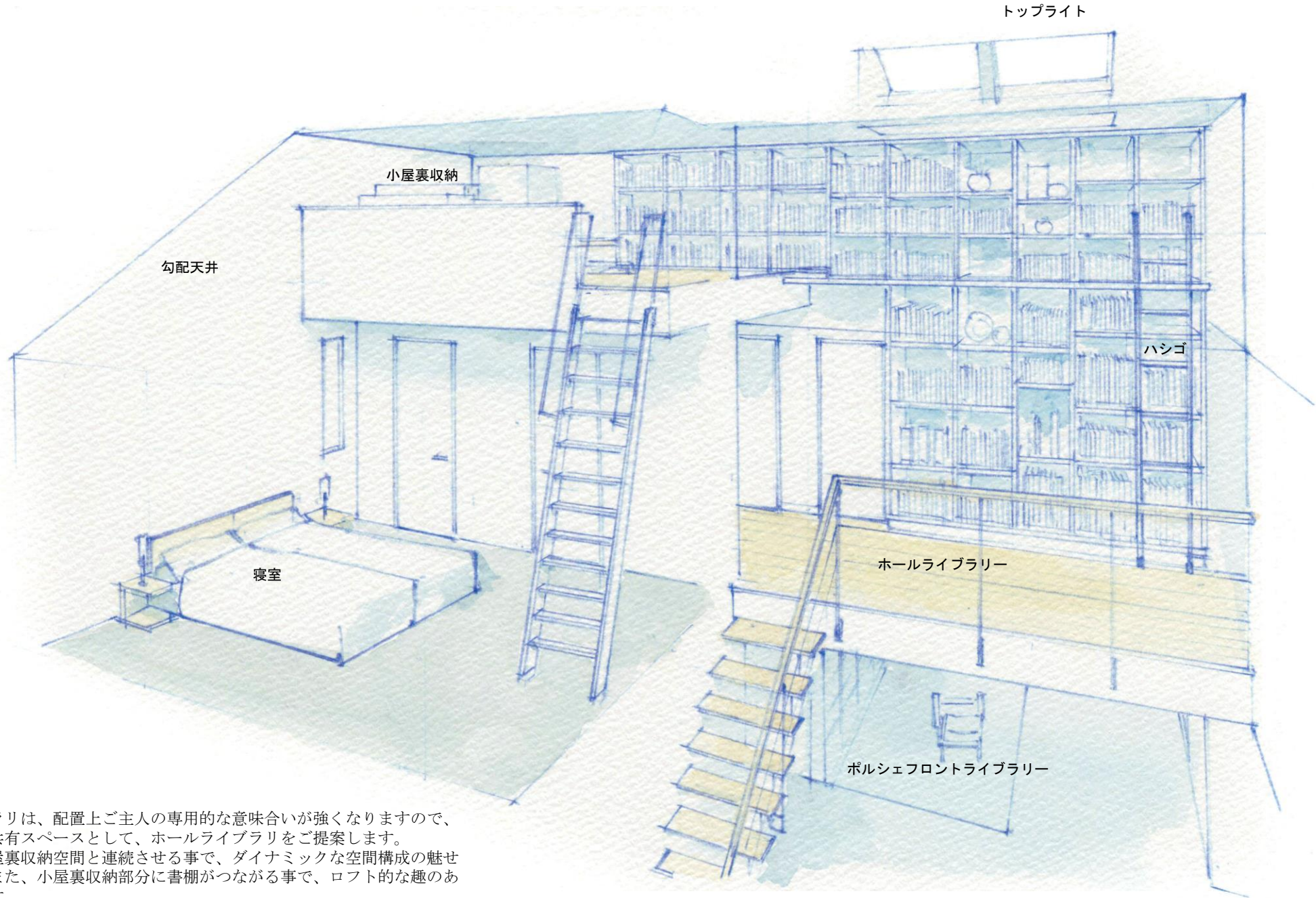
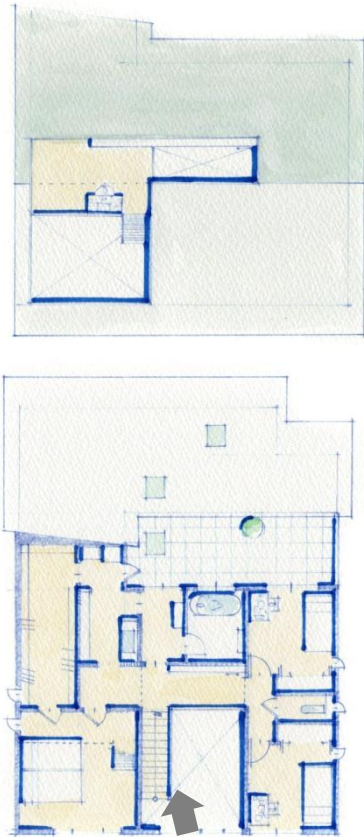


ポルシェを眺める特等席として、ライブラリを設けました。低い位置にある車がよく見える様に、一部床を下げ、窓もその下げた床面からの高さとしします。

ポルシェフロントライブラリースケッチ

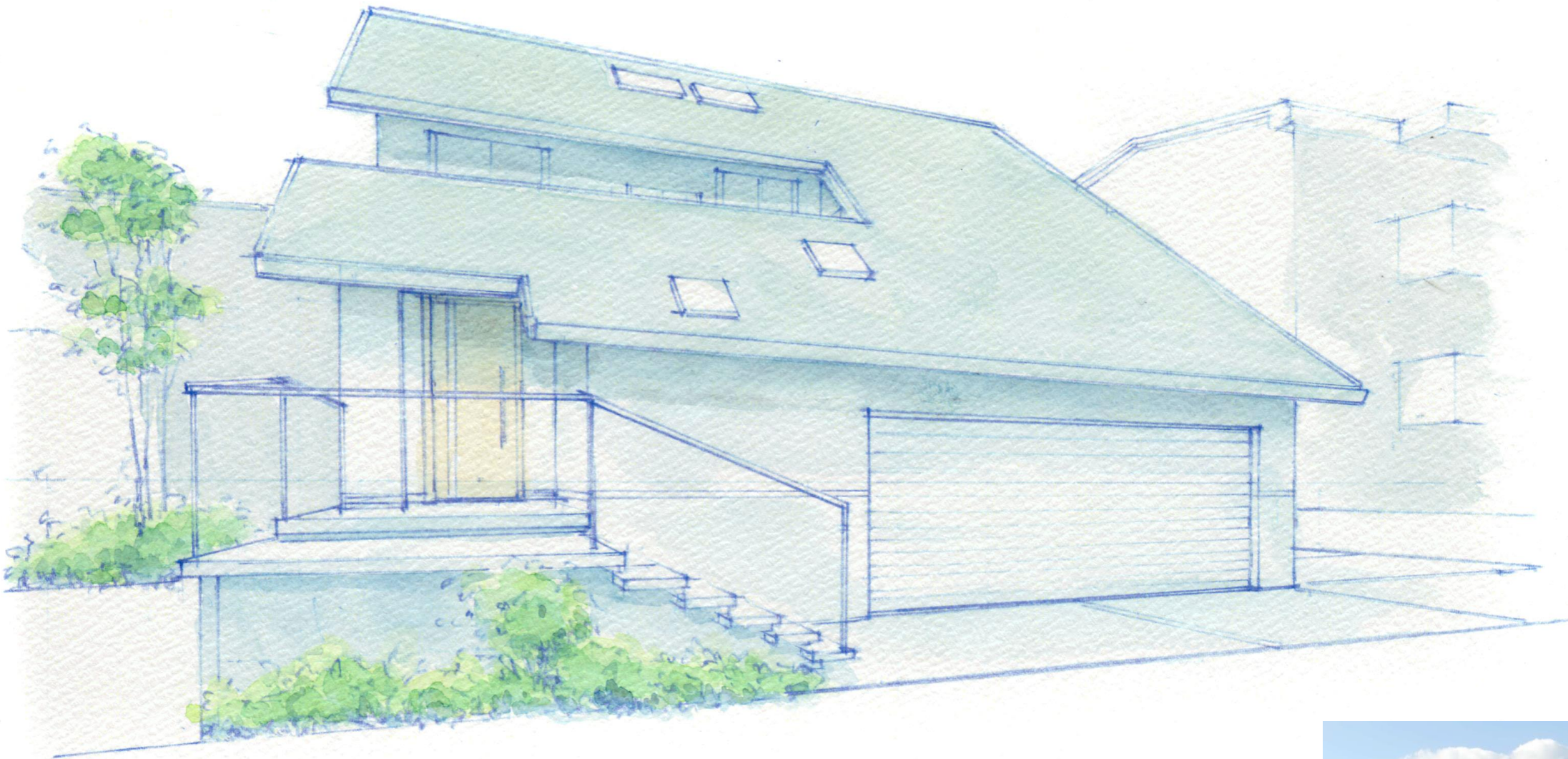
INTERIOR

PERSPECTIVE



1階のライブラリは、配置上ご主人の専用的な意味合いが強くなりますので、ご家族皆さんの共有スペースとして、ホールライブラリをご提案します。  
寝室上の、小屋裏収納空間と連続させる事で、ダイナミックな空間構成の魅せ場としました。また、小屋裏収納部分に書棚がつながる事で、ロフト的な趣のある空間となります。

2階ホールライブラリースケッチ



北側外観スケッチ

特徴的な大屋根葺き下ろしシルエットの外観です。道路際の軒先高さをあまり高くせず、ヒューマンスケールの建物に見える様計画しています。  
逆Cの字形状にくり抜かれた屋根面、採光、通風などの目的の為に穿たれたいくつかのトップライトが、秋吉邸のオリジナリティを表現しています。

